

ふっさ

◇ 昭和53年10月20日発行

◇ 福生市議会事務局

◇ ☎ 0425-51-1511 (代)



ボクのでっかいぞう!!

ひんやりした朝夕の風がほほをなでる、いよいよ秋本番

恒例のいも堀り会で大はしゃぎの園児たち

— 写真は10月12日 市立つくし保育園にて —

雨の二百十日で九月のこよみが始まり、市議会の第三回定例会が九月十二日から二十六日までの十五日間開かれました。

この定例会には、老人福祉手当や心身障害者福祉手当等の支給額のアップや十一月オープン健康センター条例など十二議案が市長より提出され、又継続とな

っている一議案も審議され、その結果、十一議案を

原案のとおり可決し、一議案は修正可決、一議案が継続審議と決まりました。又議員提出の意見書三件と決議二件を可決、市民から出

されていた陳情三件をそれぞれ採択しました。第一日目には、五議員が市政全般にわたる一般質問を行い市長をはじめ理事者側の姿勢をたじました。

第3回定例会

審議日程

- 12日 本会議
- 13日 本会議
- 14日 建設委員会
- 18日 総務委員会
- 19日 厚生委員会
- 22日 厚生委員会
議会運営委員会
- 26日 本会議
総務委員会

第二日目の冒頭、十月から実施予定の学校の主任制問題に対する市教育委員会の基本的な考え等について、緊急質問が行われ、続いて議案審議に移り、都市公園条例を原案どおり可決したほか残りそれぞれ所管の委員会に付託、又議員提出の意見書三件と決議一件を可決しました。

本会議最終日は、二十六日に開かれ、二日目に各常任委員会に付託され、審査された条例や請願陳情の結果について各委員長から審査報告が行われ、その報告を踏まえ、本会議で審議を行い、健康センター条例を修正可決したほか、各種福祉手当条例や補正予算などを原案どおり可決し、残り一議案を継続としました。又陳情三件を採択し、新たに議員から出された決議一件を可決して、第三回定例会を閉会しました。

繰り上げ償還

の確立を考慮

一般会計補正予算（第2号）

連日の猛暑もようやく涼しさをとりもどした第3日目、53年度の一般会計補正予算第2号は歳入歳出で、約4億9,657万円が賛成多数で決まりました。

今回の補正の中には、49年度に起こした起債約1億7千万円の繰り上げ償還が焦点となり、この賛否めぐり真剣な論議が展開されました。又教育関係では、各小中学校の修繕料等総額約1億6,207万円。民生、衛生関係は老人、心身障害者等の手当を10月から増額分や11月オープンの健康センター管理費などについて活発な質疑がかわされました。



歳入

財政見通し明るい

繰越金二億五千三百余万円の補正の内容を伺いたい。

企画財政部長 歳入では、市

税で二千三百万円、交付税で一

百万円、収益事業で三千三百万円程度が予算に対する主な増収分である。歳出では、土木費関係で二千万円、教育関係で二千八百万円、これに予備費三千百万円程度が予算に対する未執行分の主なものである。

問 今後歳入となる財源見込みはどうか。

企画財政部長 市税で約六千万円、特別交付税で約一億円、防衛関係の国庫補助金で約五千万円、都支出金で約三千万円、収益事業で約二千万円等を含めて約三億円を見込んでいます。

問 今後の財政需要の見通しはどうか。

議会日誌

- 7月 5日 全国市議会議長会社会文教委員会
- 6日 三多摩上下水役員会
- 7日 八高線電車化促進期成同盟会総会
- 11日 全国基地協議会総会
- 12日 青森県三沢市議会来市
- 13日 東久留米市議会来市
- 17日 議会だより編集会議
- 18日 狭山火葬場組合議会
- 24日 議会運営委員会視察(25日まで)
- 27日 総務委員会
- 8月 1日 三多摩上下水(第三委員会)
- 7日 三多摩上下水(第二委員会)
- 9日 全国基地協議会役員会
- 10日 全国基地協議会役員会
- 11日 建設委員会
- 12日 厚生委員会
- 16日 議会運営委員会
- 多摩川上流流域下水道



性急な起債償還 認められない

<反対>

一般的に言って起債の繰り上げ償還に反対するものではない。しかし、現在年度末まで6カ月残っているが、財源的余裕があるからといって一般財源をもって起債約1億7千万円の繰り上げ償還措置をとることは認められない。インフレ、不況で市民生活が圧迫されている中で、真剣に市民生活を考えるならば、この一般財源を市民のために有効に使えたはずである。又、不十分ながらも多少ふえた地方交付税も市民に還元することなく起債の償還に回している。さらに起債の低利債への借りかえについても努力されていないことから、本予算に反対する。

討 論



高利の起債償還 賢明である

<賛成>

11月1日開館予定の健康センターや小中学校の維持管理費、東部地区学習等共用施設の建設など市民待望の予算も含まれている。

高利子の起債を返済し、かつ、返済によって浮いてくる多額の財源を市民に還元することを考えれば賢明な策と思う。

反対者は市民要求を満たしてから返済を、と言うが、これは権利のみ主張する一部住民のエゴに立脚した要求と思う。ますます複雑多岐にわたる要求を、市民と市がするものとのを区別して、その方向づけをすることにより、公平で、人間的な市づくりができることを確信し、本予算に賛成する。

起債1億7,000万円

将来の財政基盤

歳 出

各部の要求入れた

問 起債の繰り上げ償還を行

企画財政部長 給与改定に伴う人件費で六千万円、その他物件費で三千万円、建設関係事業費で一億円程度、又八小建設のための積み立て等で、最終予算は、八十二億円程度となる。

問 この時期に繰入金金の減額補正ができたのは、財政的に明るい見通しがあるためか。

市長 思いのほか市税や地方交付税の伸びがあり大丈夫との見通しがつき補正した。

うと財政的余裕があると見られて起債や補助金獲得上支障があるといわれてきたが、その点どうなのか。

企画財政部長 以前はそういった厳しい面が一方にあったと思うが、現時点では景気浮揚策が打ち出され、国等の考え方も変わっており、財政に大きな影響がない限り返済措置をとっていきたい。

問 学校のテニスコートは公式試合ができるものか、改良工事の設計費がないのはなぜか。



教育次長 すべて公式試合ができるものであり、設計は市の職員が行うため、予算には計上していない。

問 起債を低利債に借りかえる措置をとったのか。

企画財政部長 都とも相談したが、見通しは不可能との見解であり、借りかえ措置については交渉していない。

問 市の起債の繰り上げ償還約一億七千万円は、各部からの要求を全部盛り込んでも余裕があることから返済するのか。

企画財政部長 各部からの要求も緊急度を見て若干削減しているが、必要なものまで削減してはいない。あくまで財政基盤確立を第一と考えて検討した上での返済である。

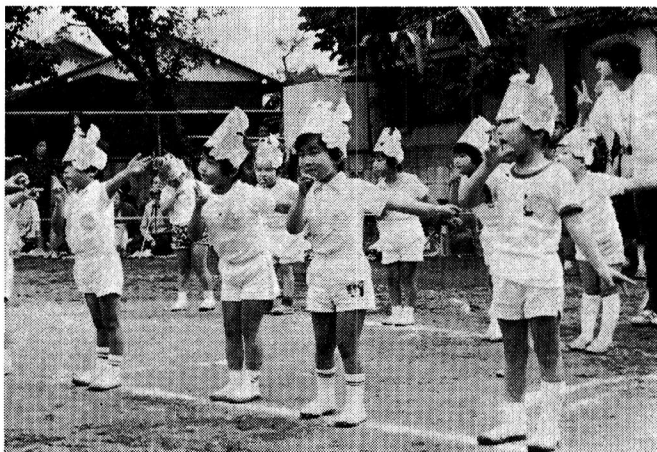
9月

26日	22日	19日	18日	14日	13日	12日	6日	30日	29日	28日	24日	23日	18日	17日	
全会協議会	第三回定例会(第三日目)、総務委員会、	厚生委員会	議会運営委員会	建設委員会	別委員会、全員協議会	第三回定例会(第二日目)、横田基地対策特別委員会、全員協議会	第三回定例会(第一日目)、全員協議会	福岡県小郡市議会来市会陳情	三多摩上下水第二委員会	三多摩上下水(第一委員会)	青梅・羽村・福生地区都市下水路組合議会視察	愛知県岩倉市議会来市	総務委員会視察(25日まで)	第四回臨時会	促進協議会会議



一般質問

第3回定例会では
5人の議員が一般
質問を行いました



今日は楽しい運動会
市立すみれ保育園にて

かたよる保育料

市の負担は是正

質問 大企業優先の日本経済

のもとで、インフレ・不況が長い間続いており、日本の労働者は低賃金のため長時間労働を余儀なくされ、天井知らずの物価値上げに苦しみ、又円高問題等で市民は二重、三重の苦しみを受けている。このような社会情勢の中で、子供を保育所に預けて共働きをする家庭が年々ふえており、保育料の値上げは絶対すべきではないと思うがどうか。

市長 国の徴収基準額から見ると、福生市の保育料は四三・七%と低い。又低所得者に対する市の負担は少なく、高額所得者には負担が多い。これは税金の公正さを欠くものである。今後専門委員会に諮って、格差の是正面から検討してもらおう。

福祉部長 市立保育所の五十三年度予算での総事業費から見ると、保育料の占める割合は、八・四%と非常に低い。保育料としていただくべき額は、約一億二千五百万円であるのに対し、保護者負担が五千四百五十万円で、この差の約七千万円を市が負担している。

たとえば、所得税年額三万円の世帯は市の負担が六万二千円である。これに対し所得税二十四万円の世帯では三十五万二千八百円市が負担している。税金の公平な負担を考えると、高額所得者は検討段階にきていると思う。

意見書 決議



第3回定例会において、次のような意見書及び決議が可決され、国や都へ送付しました。

危機に立つ国保財政

抜本的対策を要望

国民健康保険事業に対する財政強化に関する意見書

国民健康保険制度は、地域住民の健康管理と、医療の確保に重要な役割を果たしております。

しかしながら、この制度は加入者に老人層及び低所得者層を多く抱え、加えて医療費の改定、老人医療費の無料化制度の定着、高額療養費支給制度における限度額の据置き、受診率向上による医療費

障害児保育の制度化

現段階では無理

質問 障害児に基礎的な知識や技術・判断力を身につけさせることは、重要なことである。当市でも障害児保育に対する方針をもち、制度化し、全保育所で障害児を受け入れなければならない。特に市立保育所では率先すべきであるが、市は障害児保育をどのように考えているか。

市長 障害児保育の制度化は、これから福祉会館の改造や第八小学校、第四中学校、公園の建設等市民全体のための投資をしなければならぬものが多い。いましばらく待っていたきたい。

河川敷のゴミ焼却

当事者と移転交渉中

質問 多摩橋下のゴミ焼却は、依然として続いており、付近住民の黒煙による被害は大きい。多摩橋下流の堤防建設を進める上にも河川敷居住者がネックになっていると聞くが、市民が安心して生活できるようにすべきと思うがどうか。



移転交渉中の河川敷

市長 私の力不足で付近住民にご迷惑をかけている。あの河川敷は建設省の管理で、行政区画は秋川市で

第3回 定例会を

傍聴された方々

(敬称略)

- ・須釜亮次
- ・山本光
- ・前田利治
- ・山崎繁三
- ・田中弥一
- ・上島尚久
- ・川村清次
- ・小泉毅
- ・大塚武三
- ・仲村清信
- ・依田久雄
- ・伊藤達彦



- ・近藤博仁
- ・土屋フミ
- ・佐々木マサ
- ・山下由美
- ・山田節子
- ・細谷イセ
- ・小泉花子
- ・長尾弘子
- ・柿崎克子
- ・大津久子
- ・石井久代
- ・佐々木ほな
- ・窪田房子
- ・太田美紀子

ある。今、当市と秋川市と建設省で鋭意努力している。

建設部長 建設省は、多摩橋から五日市線の上流までの新堤防工事を行うので、関係人に対する移転交渉を進めている。市もこの問題に積極的に取り組んでいる。早ければ次の定例会ごろまでには具体的な案について報告したいと考えている。

「はし」の試験使用

高学年に好評

― 学校給食 ―

質問 現在使われている先割れスプーンは、背を丸めて食器に口を近づけて食べたり、スプーンが満足に使えず指を添えて食べる新入生など憂慮すべき状況である。先割れスプーンの使

用は、子供たちを無視した、安くて便利だという給食管理者の行政優先の考え方である。今後、日本人の伝統的な食習慣である「はし」の使用について考えを聞きたい。

教育長 学校給食は、パンとか牛乳を基本としているため先割れスプーンを使用している。今年度から第一小学校で試験的にカレーライスを除くご飯ものやめん類に「はし」を使っており、高学年には評判がよい、低学年は、手や指が小さいため、めん類のときに滑ってしまうとかいろいろの問題もあって使いくらいようである。

いずれにせよどちらも長所短所があり、もうしばらく学校側の実態をみたい、又給食の献立部会にもはかり、さらに研究していきたい。

意見書・決議

の自然増等のため、療養給付費は年々増嵩の一途をたどっています。わけても国保財政に及ぼす老人医療費の影響は大きく、極めて憂慮すべきものとなり、もはや市町村の段階では解決しがたい危機に立ち至っています。

記

一、現在の医療保険制度は、医療費の増嵩にまったく無防備の状況であるので、早急に抜本的対策を講ずること。

二、国民健康保険の療養給付費に対する現行定率四割の国庫負担率を五割に引き上げること。

三、老人医療保険制度を速やかに確立すること。

四、事務費は、地域の実態を考慮し全額国庫負担とすること。

五、高額療養費に対する国庫補助金を負担金とし、その負担率は五割とすること。

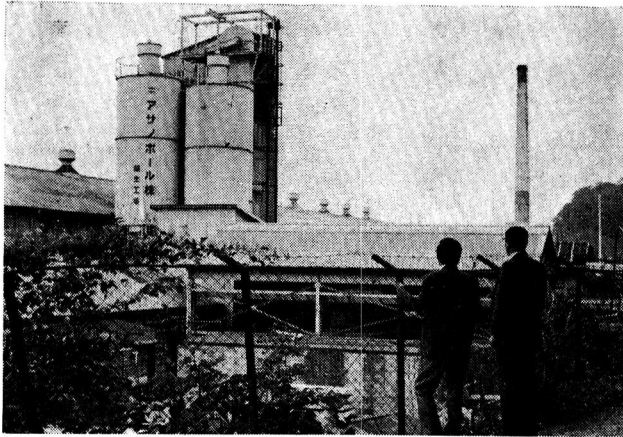
六、助産費、葬祭費の給付は義務給付とし、国庫負担を五割とすること。また給付額は社会保険に近づけること。

生活資金の限度額

引上げる考えはない

質問 現在実施している生活資金の貸付限度額十万円を引き上げる考えはないか。又、五万円までの貸し付けに対しては、保証人はいらないとし、条件の緩和が必要だ。秋川市で実施している市民ローンは非常に好評であり、当市でも設置すべきであると思うがどうか。

市長 生活資金の貸付は社会



公共施設となるアサノポール

質問 加美地区のアサノポール会社が移転することから、市の開発公社で用地一万八千八百平方メートルを約五億六千八百万円で買収したが、今後の利用について聞きたい。

市長 とりあえず子供の遊び場等に利用していきたい。

総務部長 三月ごろ都へ民間工務店がアサノポール工場の用地を買収して分譲住宅を建設するという計画で申請が出され、知事から、法により市が取得しない場合は認可する旨の通知が来たため、市が必要であるとして七月に用地を買収した。九月末で操業を終わり、今年中に建物を撤去し、整地してから市に渡すことになっている。

福祉協議会で実施しているが税金や寄付金等の資金で運用しており、昨年、限度額を五万円から十万円に引きあげたばかりで、再度の引き上げは考えていない。又、五万円までの保証人については、社会福祉協議会とよく検討したい。市民ローンは、現在のところ生活資金の貸付制度を利用願いたい。

子供の遊び場を利用

アサノポールの跡地

議会を傍聴しましょう

次の定例会は

12月に開かれます

有事立法の研究 国民も政府も真剣に

質問 有事立法への動きは、憲法の平和と民主主義の原則の破壊であり、きわめて重大なことである。市長の有事立法に対する見解を聞きたい。

市長 当市には、横田基地があり、この問題には大変関心を

もっている。国民も政府も真剣に、この問題に取り組み、十分研究しなくてはならないと思う。

善意を食い物にする

不明瞭な募金活動

質問 最近市内各地で、不明瞭な福祉募金活動を行っているものがある。福祉施設に寄付する名目で、安物のお茶やボールペン等を市価より相当高く販売したり、募金を要求したりして、善意を食い物にしている。この訪問販売を市としては、市民が被害に遭わないよう適切な対処が必要ではないか。

市民部長 現在のところ、市の方へ被害の届けはない。訪問販売は、個人の生活権の問題でもあり、市が直接、やめるといふ指示はできない。トラブルがあれば警察等への連絡が必要だと思ふ。市では、すでに広報で周知してある。

市職員の教育は

毎年研修を実施

質問 市職員と業者のゆ着問題やギャンブルに熱中し、サラ金地獄からの蒸発等が報道され

厳しい市町村国保

都の大幅補助を図れ

国民健康保険事業への都費補助金増額に関する意見書

福生市の国民健康保険事業は、昭和五十三年二月の医療費改定、老人医療費の深刻なる影響、高額療養費支給制度における限度額の据置き、受診率の向上等のため、現在かつて経験したことのない財政危機を迎えている。

不況と物価高の折、市民生活を守るため、東京都におかれては、次の事項について、更に努力されるよう強く要望する。

- 記
- 一、東京都市町村国民健康保険事業への補助金を大幅に増額し、二十三区との格差の是正をはかること。

農地の宅地なみ課税

都市農業の破滅に

農地の固定資産税に關

意見書・決議

ている。当市にはないと思うが、職員に対する教育はどのようになっているのか。

市長 常に嚴重注意をし、市民に迷惑をかけることは、すべて私の責に帰すべきものであり、今後も重々引きしめていきたい。

助役 公務員には、全体の奉仕者、職務専念、秘守の三大義務があり、職員に対し、毎年研修を行っている。

総務部長 昨年度の独自研修は、新入職員十六人を二日間、現業職員六十九人を一日、中堅職員八十二人を二日間、そのほか、管理職員等の研修を行い、又、東京自治会館や自治大学校に派遣して研修を行っている。

行財政プロジェクト

今後は各分野で検討

質問 二年前に行財政プロジェクトチームができ、その後補助金等調査専門委員会が編成され、今年七月には答申も出たが、行財政全般についてのどのような活動がなされたのか。

収入役 行財政プロジェクトチームができたときは、地方財政が非常に逼迫していた。当市も財政問題を検討しようということで編成したが、その後、内

部に他のプロジェクトもできたため、四月で解散した。十分な活動ができなかったことをおわびする。

企画財政部長 補助金、負担金、使用料等について行財政プロジェクトチームで検討してきたが、今後は各分野ごとに検討会をつくることとし、いまは八

昼休みの窓口利用

一日平均六件

質問 五十一年十月から始めた昼休み窓口事務の状況、又昼休みに諸証明がもらえない場合

小建設、地域会館建設、中央図書館建設の検討委員会や住民台帳の電算化、伝票会計の導入等のプロジェクトチームがある。



もあるのか。

市民部長 実施して二年になるが、昨年度の昼休み窓口事務の利用は一日平均六件となっている。又、登録された住民票等の謄抄本や印鑑証明は発行できるが、戸籍や改印、変更は専門的な事務であり、昼休みの窓口では扱っていない。

都財政の大幅赤字

消防署の経費に影響

質問 ①東京都の財政は、約二千七百億円という巨額の赤字を抱えているが、当市の補助金には影響ないか。

②すでに確定申告の終わった市民税の収入見込みはどうか。

③五十三年度末の起債は、一般会計と下水道会計を合わせ五十九億円強となるようだが、六十年度の未償還額はどのくらいになるのか。

市長 ②今年の経済不況ムードを考え、多少消極的すぎたきらいもあり、反省している。

③多額になっているが、将来の起債額は不明である。一般的に地方債額が自主財源の二〇％を超えると財政は赤信号といわれ、当市は九〇％程度であり健全財政と思う。

助役 ①大きく影響するのは消防費の経費で、今まで市と都が半分づつ負担していたが、今年度から十分の一、二程度しか出さないとわれている。そうなるると約一億四千万円多く負担することになる。都に消防委託している三多摩の三十市町が團結し、今までと同じように補助するよう強く要請している。そ

意見書・決議

する意見書

昭和四十八年度から実施された市街化区域のいわゆるA・B農地に対する固定資産税の宅地なみ課税に引き続き、昭和五十四年度からはC農地まで適用されようとしています。

その間において、農業経営に対する奨励措置を講じる等保護、育成に努めてきたが、しかし、今日の社会情勢も大きく変わり、都市農業が環境保全や災害時における避難場所の確保等その役割りが高く評価されつつあり、この上農地課税が強化され、大幅な税負担がよぎなくされるならば、都市農業は決定的な破滅に直面せざるを得ない。

よって、市街化区域農地に対する固定資産税の宅地なみ課税を撤廃し、都市農政の推進を図られるよう要望する。

駐留軍離職者の雇用

高齢化で一層厳しい

駐留軍従業員の雇用安定に関する決議

最近における国内経済は、不況の様相が一層進み、加え



昼休み時間の窓口

のほか学校警備員の人員費、予防接種等に影響してくとする。

建設部長 (1)建設事業では、交通安全施設や道路関係には影響はないが、下水道関係は影響してくる。区画整理事業は来年度に影響してくると思う。

企画財政部長 (2)当初予算編成時は確実な額を組むため、年度末近くになって大きな伸びとなってしまうので、今後は積極的な予算編成に心がけたい。今回の補正で、市民税の個人分約八千万円を計上したが、今後の見込みとしては、法人市民税で約五千万円、たばこ消費税や電気税等の伸びで約一千万円を見込んでいる。

(3)今後の起債による事業として八小建設があるが、そのほかを含め、六十年年度の一般会計における地方債の未償還額は約六十億円、又下水道会計においては約九十八億円と見ている。こうした地方債は、事業施行上の裏負担的な財源として確保し、財政計画を的確につかみ事業にあてていきたい。

市庁舎の冷房設備

五十四年度で考慮

質問 今年はまだ暑い暑さが続

き、冷房設備のない所での仕事も大変であったと思うが、冷房設備のない公共施設をどのように考えているのか。

市長 市立保育園は、冷房のきいた部屋に幼児を入れる場合、健康上の問題を研究すべきであると思う。市庁舎については、時代の要請もあると思うが、いずれ増改築しなければならぬので、とりあえず簡易な

冷房設備を考えたい。

企画財政部長 学校関係では四小だけについているが、高学年と低学年の体力差から、健康上の問題を憂慮する先生もおり、保留している。市庁舎は最後に考えていたが、行政事務の執行上、将来は増改築も考えられていたので、当面の冷房は来年度に考えた。このほかの施設はすべて冷房設備がしてある。

福祉会館改造の

検討委員会が発足

質問 市長は将来福祉会館を

福祉の殿堂にしたいと常にいつているが、改築する場合、身体障害者の作業所、寝たきり老人の一時預り所、あるいは慶弔施設も併設する考えがあるか。

市長 前から大改造したいと



改造検討中の福祉会館

思っており、今後の大事業である中央図書館や第八小学校の建設等勘案して取りかかる考えである。内部でも検討委員会を発足させ、現施設を改造するか、新たに建設するか、又、財政面等を含め、施設の内容を検討していきたい。

福祉部長 昭和四十五年に開館したが、都市計画公園内であり、建べい率いっぱいのため増築は不可能である。

なお、会館利用の巡回バスについては、老人会等関係団体の代表者と相談願ひ、利用日を決めて運用するようにしたい。



老人世帯の住宅

福祉事務所で十分配慮

質問 老人世帯が家を借りるのは非常に困難で、家賃を上げられてもがまんしなければならぬ実情である。社会的弱者の老人世帯に住宅費補助をし、家主側にも奨励金を出す等の策を講ずる考えはあるか。

意見書・決議

て円高、ドル安問題は、わが国経済のみならず世界経済の情勢も急激に悪化し、そのため駐留軍離職者の雇用問題はますます深刻になってきている。特に、在日米軍は厳しい財政運営を余儀なくされており、過般発表された沖縄県における大量人員整理もこれに基因した結果であると思われま

ます。当市においても横田基地をひかえ、かねてより駐留軍従業員の雇用安定につき対策を講じて参ったところであるが、現今の経済情勢下における離職者の再就職は、高齢化等により一層厳しく今後の失業者の増大は大きな社会問題となり、自治体にとっても憂慮されるところである。

よって、国におかれては、駐留軍従業員の離職者に対する抜本的な雇用安定施策を講ずると共に、これが財政措置を講ずるべきである。

一般消費税の課税

最後は消費者が負担

一般消費税の新設に反対する決議

市長 すぐに実施することはむずかしいが、お困りの世帯は福祉事務所で救えるようにしたい。

福祉部長 市内に六十五才以上の一人暮らしで借家住いの方が約百七十世帯あり、このうち、生活保護やポーターライン層が約五十世帯となっている。こうした方が住宅等で困っている場合は、各地区の民生委員を通じて福祉事務所です十分配慮していきたい。

市営住宅の建てかえ

十分話し合って解決を

質問 現在、建てかえのため

市営住宅が空家になったままであるが、市の方針に協力して出た方に対し、又防災上の問題から考え壊すべきだと思うがどうか。

市長 市営住宅は市民全部のものであり、互いに助け合っていかなければならないと思う。計画が遅延し申しわけないが、関係者と十分話し合って解決したい。

助役 空家の取り壊しについて関係者から強い反対を受けているので大変遅れ、防犯上からも警察側に協力を願い、管理人にも督促し、事故のないようにしている。今後も関係者と熱意をもって話し合い、解決に努力する。



建てかえを待つ市営住宅

固定資産評価審査委員に

磯村武夫氏(本町2)が再選

固定資産の評価について、不服の申し立等があった場合に審査する固定資産評価委員会の委員3人のうち、磯村武夫氏の任期(3年)がきたために、市長から議会に提案されたもので、全員一致で再選されました。

なお、田村祐一氏(福生 662)と森田秀雄氏(熊川 751)が就任中です。

災害時の飲料水に

五十石貯水槽を利用

質問 市内には、大正時代にできた小さい貯水槽が消防自動車も入れない所に点在しているが、そのうち五十石貯水槽の今後の考え方を聞きたい。

市長 昔の貯水槽は、放水も一分程度しかもたないが、火災でなく地震等の災害用にも利用できると思うので、不備なものも修理していきたい。

市民部長 貯水槽は大小合せ百二十九カ所あり、このうち五十石(九立方メートル)のものが三十七カ所ある。ほとんど民有地にあり、地代を払っているが、消防車も入れないため消防水利としては考えていないが、

地震等の災害時の飲料水や初期消火用にも考えられるので存続のための修理をしたい。

市の指定金融機関

かえる考えはない

質問 昭和四十年頃から市役所の公金を扱う銀行として埼玉銀行が扱っているが、今後も継続していく考えか。

市長 役所も銀行も信用を重視する所であり、又歴史的経過もあるので、よほどのことがない限りかえる考えはない。

収入役 公金の約八四%を埼玉銀行で扱い、七月末で約十六億円を預けている。又市民税、保険料、水道料等の口座振替も七割程度扱っている現状である。

意見書・決議

引き続き不況、物価高は、国民生活はもとより、中小工業者の経営難をますます増大させていることは周知のとおりである。

このような時期に、政府は財政危機を理由に「一般消費税」を新設、五十四年度からでも実施しようとする準備を進めている。

「一般消費税」はその名の通り、商品やサービスに課税され、最終的には消費者に負担させられるものであるが、いま以上の物価高騰を引き起こすことが必至であるばかりでなく、中小工業者にとっても、事務処理が複雑になるだけでなく、これが競争の手段に使われた場合大変不利な状態におかれ、ますます経営困難に陥ることは明らかである。

「一般消費税」は、所得の低いものほど相対的に重い負担を強いる逆累進課税であり、本来の税の公平負担とは相容れないものであり、国民生活の安定、中小工業者の経営難打開を講じなければならぬ現今の状況をさらに悪化させることが必至である。

よって、「一般消費税」の新設に絶体に反対するものである。

第4回 臨時会

— 8月18日(金)—

毎日天火の中にいるような猛暑の続いた8月にしては、めずらしく曇空の18日(金)、第4回臨時会が招集されました。

この臨時会には、第一中学校裏に建設予定の中央図書館の敷地内にはしている市道2路線を廃止する議案と固定資産評価審査委員が1名任期がきたための同意案の2件が提出され、2案とも原案どおり決まりました。

⑨教育は父母や地域社会が協力して初めて効果があるが、この主任制は教育の機能向上を目的としている。市民の大多数が賛成してくれると思う。特に父母などとの話し合いや説明会は現在考えていない。

◇請願第四号 自主課税による負担の不公平是正と税制改革による減税に関する請願書

継 続

◇請願第九号 富士見台町会地区の塵芥収集に関する陳情書
熊川一三一五
安田孝彦氏 他十三人
| 昭53・9・26提出 |

◇陳情第九号 富士見台町会地区の塵芥収集に関する陳情書
熊川一三一五
吉国 勝氏 他三七人
| 昭53・9・26提出 |

◇陳情第八号 第三第四都営住宅ダストボックス継続使用許可に関する陳情書
熊川一三一五
吉国 勝氏 他三七人
| 昭53・9・26提出 |

◇陳情第五号 熊川武蔵野会館名称変更に関する陳情書
熊川一四九二—十二
仲村清信氏
| 昭53・9・13提出 |

◇陳情第六号 朝鮮の自主的平和統一運動支援に関する陳情書
本町九八
鄭 清正氏
| 昭53・9・13提出 |

◇陳情第七号 熊川幸楽園下の坂名称に関する陳情書
熊川九〇五
田中 勇氏 他二人
| 昭53・9・13提出 |

◇陳情第八号 第三第四都営住宅ダストボックス継続使用許可に関する陳情書
熊川一三一五
吉国 勝氏 他三七人
| 昭53・9・26提出 |

◇陳情第四号 福生リトル及びシニア野球場の設置に関する陳情書
牛浜一四七
村木栄治氏 他二四四三人
| 昭53・6・13提出 |

◇請願第三号 国鉄貨物取扱駅廃止反対に関する請願書
立川市曙町二—十五
石野 昇氏 他二人
| 昭53・9・13提出 |

◇陳情第五号 熊川武蔵野会館名称変更に関する陳情書
熊川一四九二—十二
仲村清信氏
| 昭53・9・13提出 |

◇請願第二号 一般消費税の新設反対に関する請願書
牛浜九一
西村理三郎氏 他二一五人
| 昭53・9・13提出 |

◇陳情第四号 福生リトル及びシニア野球場の設置に関する陳情書
牛浜一四七
村木栄治氏 他二四四三人
| 昭53・6・13提出 |

◇請願第一号 韓国の自主的平和統一に関する請願書
志茂一三四
朴 載洙氏 他四人
| 昭53・6・13提出 |

◇陳情第五号 熊川武蔵野会館名称変更に関する陳情書
熊川一四九二—十二
仲村清信氏
| 昭53・9・13提出 |

◇陳情第六号 朝鮮の自主的平和統一運動支援に関する陳情書
本町九八
鄭 清正氏
| 昭53・9・13提出 |

◇陳情第七号 熊川幸楽園下の坂名称に関する陳情書
熊川九〇五
田中 勇氏 他二人
| 昭53・9・13提出 |

◇陳情第八号 第三第四都営住宅ダストボックス継続使用許可に関する陳情書
熊川一三一五
吉国 勝氏 他三七人
| 昭53・9・26提出 |

◇陳情第九号 富士見台町会地区の塵芥収集に関する陳情書
熊川一三一五
安田孝彦氏 他十三人
| 昭53・9・26提出 |

◇陳情第十号 富士見台町会地区の塵芥収集に関する陳情書
熊川一三一五
安田孝彦氏 他十三人
| 昭53・9・26提出 |

緊 急

緊急質問とは、定例会、臨時会で緊急に質問を行う場合を言います。



質 問

主任制の導入

都の基準規則に準拠

質問 東京都の教育委員会は、主任制度を十月一日から実施するという方針を定め、各市町村もこれにならうよう指導を行っているが、東京都の教育委員会と福生市教育委員会は別と考える。都の指導も行政的には何ら拘束力をもつものではない。

質問 東京都の教育委員会は、主任制度を十月一日から実施するという方針を定め、各市町村もこれにならうよう指導を行っているが、東京都の教育委員会と福生市教育委員会は別と考える。都の指導も行政的には何ら拘束力をもつものではない。

①主任制導入について都教育委員会の要請をどう受けとめているのか。
②教職員組合は導入に反対しているが、小中学校でも十月一日から実施する予定か。又実施する場合、どのような主任をどのようにおこなうのか。
③主任制導入について父母などとの話し合いや説明会を行う考えはあるのか。

④主任制導入について都教育委員会の要請をどう受けとめているのか。
⑤教職員組合は導入に反対しているが、小中学校でも十月一日から実施する予定か。又実施する場合、どのような主任をどのようにおこなうのか。
⑥主任制導入について父母などとの話し合いや説明会を行う考えはあるのか。

採 択

請 願 陳 情



立川市曙町二—十五

石野 昇氏
| 昭51・9・22提出 |

◇請願第一号 韓国の自主的平和統一に関する請願書
志茂一三四
朴 載洙氏 他四人
| 昭53・6・13提出 |

◇請願第二号 一般消費税の新設反対に関する請願書
牛浜九一
西村理三郎氏 他二一五人
| 昭53・9・13提出 |

◇請願第三号 国鉄貨物取扱駅廃止反対に関する請願書
立川市曙町二—十五
石野 昇氏 他二人
| 昭53・9・13提出 |

◇陳情第六号 朝鮮の自主的平和統一運動支援に関する陳情書
本町九八
鄭 清正氏
| 昭53・9・13提出 |

◇陳情第七号 熊川幸楽園下の坂名称に関する陳情書
熊川九〇五
田中 勇氏 他二人
| 昭53・9・13提出 |

◇陳情第八号 第三第四都営住宅ダストボックス継続使用許可に関する陳情書
熊川一三一五
吉国 勝氏 他三七人
| 昭53・9・26提出 |

◇陳情第九号 富士見台町会地区の塵芥収集に関する陳情書
熊川一三一五
安田孝彦氏 他十三人
| 昭53・9・26提出 |

◇陳情第十号 富士見台町会地区の塵芥収集に関する陳情書
熊川一三一五
安田孝彦氏 他十三人
| 昭53・9・26提出 |

◇陳情第十一号 富士見台町会地区の塵芥収集に関する陳情書
熊川一三一五
安田孝彦氏 他十三人
| 昭53・9・26提出 |

◇陳情第十二号 富士見台町会地区の塵芥収集に関する陳情書
熊川一三一五
安田孝彦氏 他十三人
| 昭53・9・26提出 |